
INTEROP[®]

TOKYO | 7-10 JUNE, 2011

IPv6@Interop

Interop Tokyoは唯一にして最大のIPv4枯渇対応、IPv6対応訴求が
可能なイベント！

20110214

株式会社ナノ-opt・メディア

主催者企画とは？

「主催者企画」とは特定のHotなテーマに複数社が集まって参加することにより、様々なメリットを享受できるコーナーです。

● 主催者企画コーナーのメリット ●

1. 集客力アップ
 - 複数社が同じテーマに集まることにより、相互に集客を高めることが可能。
2. 露出アップ
 - そのコーナー自体の説明をオフィシャルサイトや印刷物などのプロモーションアイテムに掲載。
3. 参加しやすい参加形態
 - 特別講演、クラスルーム、パビリオンブースなど準備期間の少ない参加形態の中から貴社製品・サービスをアピールしやすい形を選択可。

Interop 2011 重点フォーカス分野

IPv6

- IPv4枯渇対策
- 具体的な企業での対応策

クラウドコンピューティング

- データセンター
- 仮想化
- パフォーマンス
- セキュリティ

スマートグリッド (テーマイベント: スマートグリッドジャパン 2010年~)

- ICT目線で環境エネルギーへ貢献
- スマートメーターなどの相互接続検証

ブロードバンドモバイル&ワイヤレス (テーマイベントブロードバンドモバイル&ワイヤレス 2010年~)

- スマートフォンによるビジネスソリューション
- アプリマーケットによるビジネスモデルの変化
- LTEサービスの登場、高速無線の発展

デジタルメディア

- デジタルサイネージ (同時開催イベント: デジタルサイネージジャパン 2009年~)
 - IPTV
 - ホワイトスペース
 - 次世代放送
 - デジタルシネマ
- (同時開催イベント: IMC Tokyo 2005年~)

Webテクノロジー・デザイン

- インターウェブ
 - Webアプリケーション
- (テーマイベント: Inter WEB 2011年~)

はじめに ~ IPv4枯渇？ IPv6？ 企業の具体的な対応は？

2011年2月、国際的なIPアドレスの管理団体IANAによるIPv4アドレス在庫の枯渇が宣言されました。

また、日本国内のIPアドレスを管理しているJPNICによると、まさにInterop Tokyoが開催される頃、2011年半ばにも国内でもIPv4アドレス在庫が枯渇する見通しとなりました。

それを受けて、これまでは、いつかやってくるIPv4アドレスの枯渇を見据えたインターネット接続サービスを提供する側の対応に関する話題が中心でしたが、ついに、企業の情報システム・ネットワーク管理者やクラウド、サービスプロバイダのシステム管理者が今後何をすべきなのか考える必要がでてきました。

たとえば、従来の企業ネットワークの中ではファイアーウォールによる不正侵入防止はどうするのか、コンテンツプロバイダでは顧客に提供していたWebサービスをどうすべきなのか、運用方法はどこを見直すべきなのか、そして、そもそもそのコストはどの程度必要なのか、など様々な対応・検討が必要になってきます。

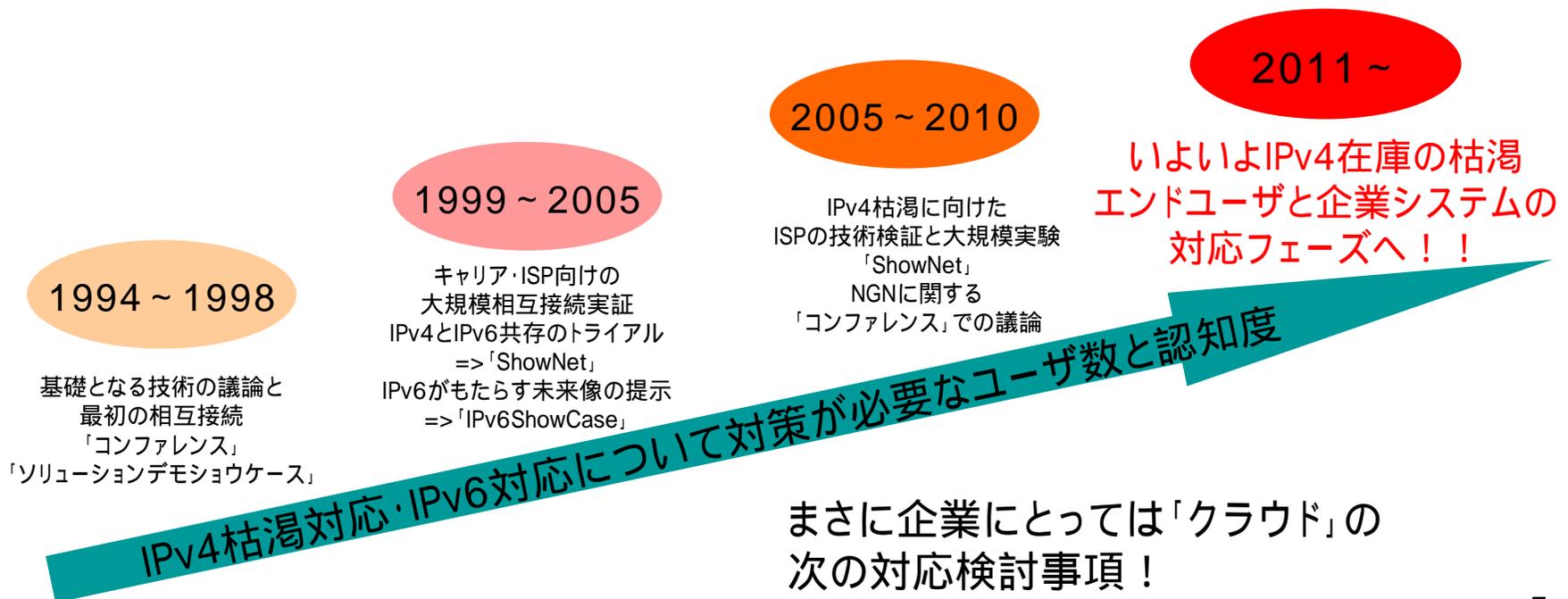
そういったニーズが高まる中、「Interop Tokyo」には、関連の製品や技術が集結しています。企業の担当者にとっては「クラウドへの対応」の次は、「IPv6への対応」が企業の大きなキーワードになることでしょう。

Interop Tokyoの会場にはデモ用のネットワーク環境「ShowNet」があり、その環境を無料でお使いいただけます。ユーザ企業関係者向けに御社の取り組みを訴求できる唯一のイベントです。

是非本企画にご賛同いただき、積極的なご参加を賜れました幸いです。

IPv6@Inerop ヒストリー

- Interop Tokyoは、その成り立ちそのものがインターネット技術によるビジネスの未来像の提示であり、大規模な実験と、展示デモ、技術者による議論の場を同時に開催してきました。特にその根幹技術であるIPをベースにした製品を比較検討するための見せ方として、特別な環境を用意するなど、まさにIPv4枯渇対応、IPv6対応のデモンストレーションを行うなら、日本国内にはほかにはない唯一の場です。



IPv6@Interop アクティビティ

- 6月8日World IPv6 Dayへの参加 = 展示会初日！(申請中)
- IPv6テーマスポンサーの募集
- 展示会
 - 展示各社によるIPv4枯渇対応、IPv6対応のデモが可能な展示フロア(国内唯一)
 - ネットワーク関連機器・サービスの集結(国内最大規模の関連製品イベント)
 - IPv6 Pavilion・オープンステージの設置
- ShowNet
 - IPv4/IPv6デュアルスタック、相互接続の巨大デモネットワーク。
 - 会場内ではこのShowNetがISPとして機能し、各ブースへのネットワーク環境を提供。
 - 製品に自信のあるShowNet参加各社と産学のエンジニアがそのネットワークを構築。
- 「IPv4枯渇対応とIPv6対応に関する特別特集」
 - Interop Webサイト www.interop.jp での特集ページ
 - 会場内で配布する特別特集冊子
 - IPv6 Ready Logo取得製品の会場内MAP
- 関連団体によるサポートと告知
 - IPv6普及・高度化推進協議会、JPNIC、WIDEプロジェクト、IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース、IPv6 Ready Logo、など、国内外の関連団体からの後援
 - 個別の団体との取り組みについては、順次発表していきます。

企画構成

特別講演

- 500名規模で行われる大規模講演です。最新のトレンドを取り上げて紹介するセッションを行います。
(聴講は無料にて提供する予定です。)

オープステージ

- 展示会場内に設置し、来場者が無料にて聴講可能なステージを設置します。業界内で活躍中のキーパーソンや企業のゲスト出演としてお招きして、それぞれの取り組みや最新の動向についてご紹介します。

展示ブース

- 各社の製品/サービスをそれぞれにご紹介頂きます。

特別講演



オープステージ



展示ブース



最新トレンド・ビジョン → より実践的な情報 → 具体的な製品サービス

参加概要(テーマスポンサー)

各種露出を最大限に組み合わせた特別協賛プログラム

- ・『IPv6』テーマスポンサー
- ・特別講演枠
 - 1枠/45分(収容人数:500名) スケジュールはお申し込み順となります。
- ・パビリオンブース
 - 3ユニット(1ユニット:W1,500xD1,000xH2,700)
 - 装飾備品
 - 社名版、照明器具、コンセント(1,000 V0.5Kw 3穴2口コンセントx3個)、ネットワーク
- ・オープンステージ
 - 6枠/20分(収容人数:20名) スケジュールはお申し込み順となります。
- ・当日露出関係
 - Pavilion内の造作、サイン系へのロゴの掲載
 - 当日配布物への社名、ロゴ等の掲載
- ・事前の露出関係
 - DMへの社名、ロゴ掲載
 - Webサイトへの社名、ロゴ、出展概要、貴社サイトへのリンクを掲載

価格についてはお問い合わせ下さい)

参加方法詳細 展示ブース・クラスルームについて

オープンステージ 価格についてはお問い合わせ下さい。

- 時間:1枠20分
- 席数:20席
- 設備:インターネット回線、プロジェクタ、スクリーン
セッションスケジュールはお申し込み順にご選択頂きます。

パビリオンブース 価格についてはお問い合わせ下さい。

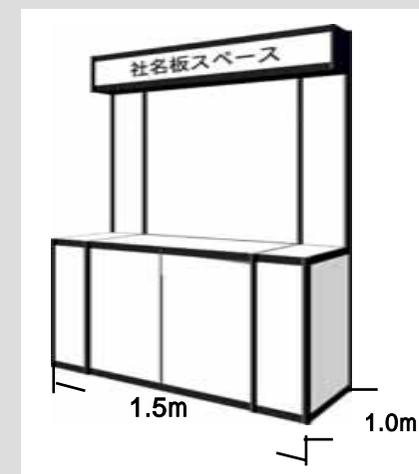
- 出展スペース:2.25m²(間口1.5m/奥行1.5m)
- ブースサイズ:W1,500xD1,000xH2,700
- 設備:社名版(テキスト表示)、電気容量0.5Kw、インターネット回線
ブース位置は、事務局にて指定させていただきます。

《参加メリット》

- マッチングプランへの参加 詳細は次ページ参照
- オフィシャルサイト内での出展概要の掲載と貴社サイトへのリンク
- メディアとのタイアッププロモーション
- 企画内造作物への社名/ロゴ掲載



オープンステージイメージ



パビリオンブースイメージ

来場ターゲット

社内の情報システムに部門に従事するエンジニア、管理者（非ITユーザ企業）
顧客に提案を行う、「販売パートナー候補」
(システムインテグレータ、コンサルティング、商社など)
自社のサービスに使うネットワークやシステムに関与するエンジニア
新規サービスを検討する企画部門の方



特に

社内の情報システムに部門に従事するエンジニア、管理者（非ITユーザ企業）

を最重要ターゲットと位置づけ、

- ・ 該当する既存来場者の確実なリピート
- ・ 市場再発掘による該当ターゲット層の新規来場誘致

を強化します。

「既存来場者」と「新規ターゲット」への集客プロモーション



郵送DM

総数約30万件発送

メディア
スポンサー

20媒体以上からのスポンサードを予定



メールDM

約25万件X10回以上

広告

紙、オンライン総数30媒体以上に露出予定

オフィシャル
WEBサイト

3月上旬より来場者事前登録受付開始！



様々な手法によるアプローチを併用し、
メディアミックスの効果を最大限に引き出します。
詳しい集客プロモーションについてはお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

Interop Tokyo 2011 運営事務局

株式会社ナノオプト・メディア
営業担当

03-6431-7801

sales-info@f2ff.jp